

持続可能な消費を実現した 新・環境配慮型 紙パック容器

平成27('15)年6月9日



I. 会社概要：株式会社伊藤園

会社名	株式会社伊藤園
英文社名	ITO EN, LTD.
本社所在地	東京都渋谷区本町3丁目47番10号
設立	1966（昭和41）年8月22日
資本金	199億12百万円（2014年4月30日現在）
売上高	4,377億55百万円（連結、2013年度）
従業員数	7,611名（連結、2014年4月30日現在） 5,339名（単体、2014年4月30日現在）
主な事業	茶葉及び飲料製品の製造、販売

Ⅱ. 新容器 開発の背景(1)

3R



リデュース

賞味期間
9ヶ月



賞味期間
5日～21日

リユース

工作品、雑貨品



工作品、雑貨品

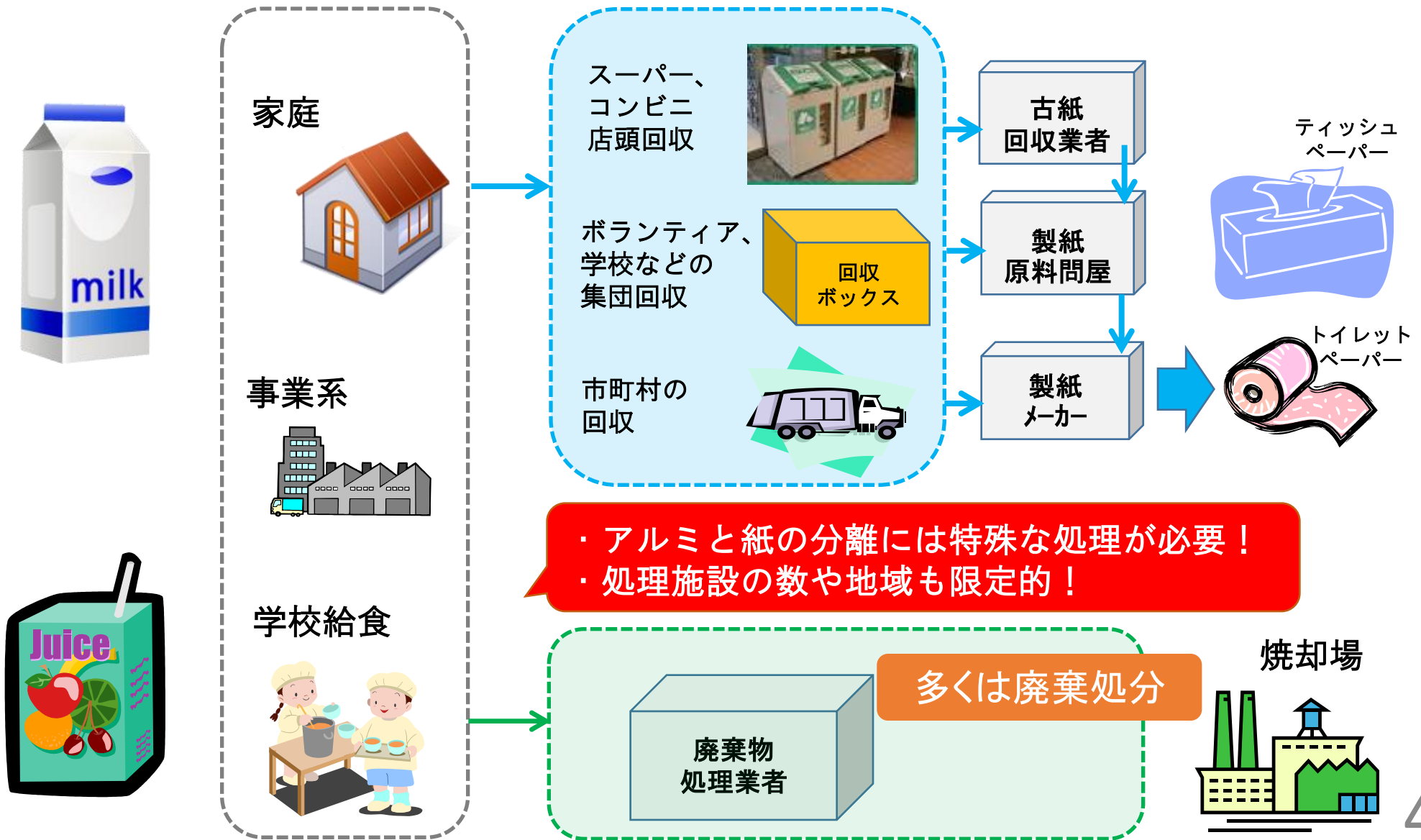
リサイクル

回収率: 3.3%
<'12年実績>



回収率: 33.8%
<'12年実績>

Ⅱ. 新容器 開発の背景(2)



Ⅱ. 新容器 開発の背景(3)

食品紙容器の紙はバージンパルプ。
一度使って焼却は、もったいない。

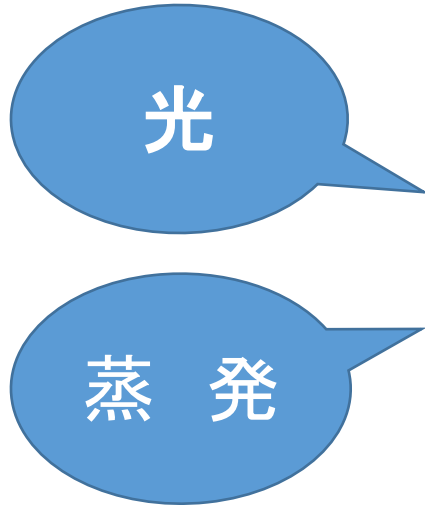
牛乳パックと同じようにリサイクルできれば
再資源になって、再利用できるのに。。。

アルミと紙を分離できる処理施設が少ない。
とは言え、インフラ整備するには莫大な費用が…。

だったら、アルミを抜いた新容器を作って
今ある回収ルートに乗せてしまえば良い！

H22年1月 お取引先様との共同開発開始。
～ H26年3月3日 「充実野菜」4品にて発売。

Ⅲ. 開発課題(1)



アルミニウムに代わるバリア層(フィルム)の開発が必要。

(株)伊藤園

日本製紙(株)



凸版印刷(株)

Ⅲ. 開発課題(2)

アルミニウムが無いので、充填時の高周波による(熱伝道)シールが出来ない。⇒ 新充填機開発必要

アルミニウムが無いので、今までの通電チェックによる品質確認ができない。⇒ 新たな品質確認体制

(株)伊藤園

充填機メーカー
四国加工機(株)



製造工場
ゴールドパック(株)

IV. 新容器 完成(1)



平成26年3月3日
発売

容器天面 拡大画像



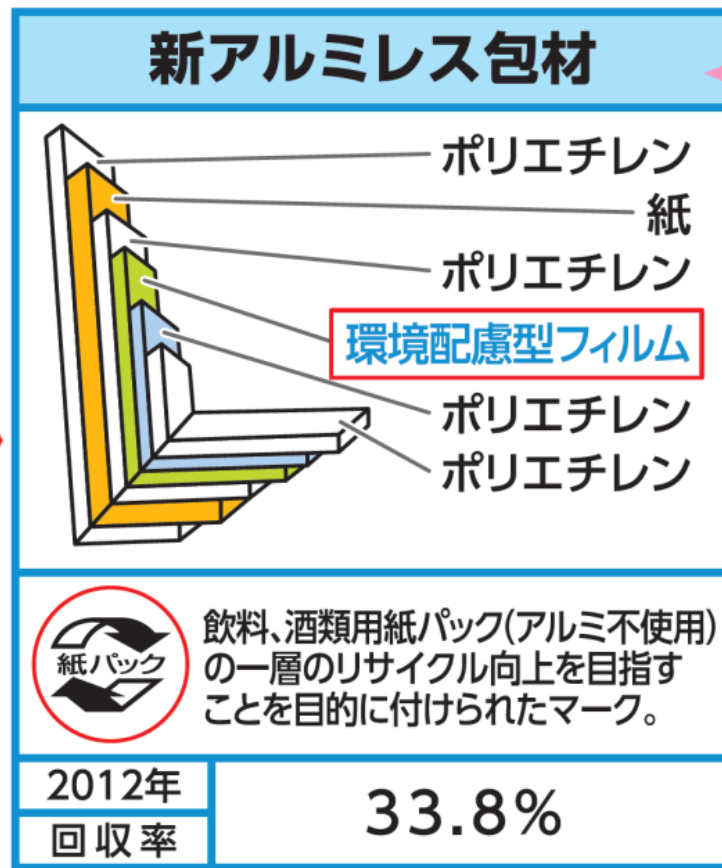
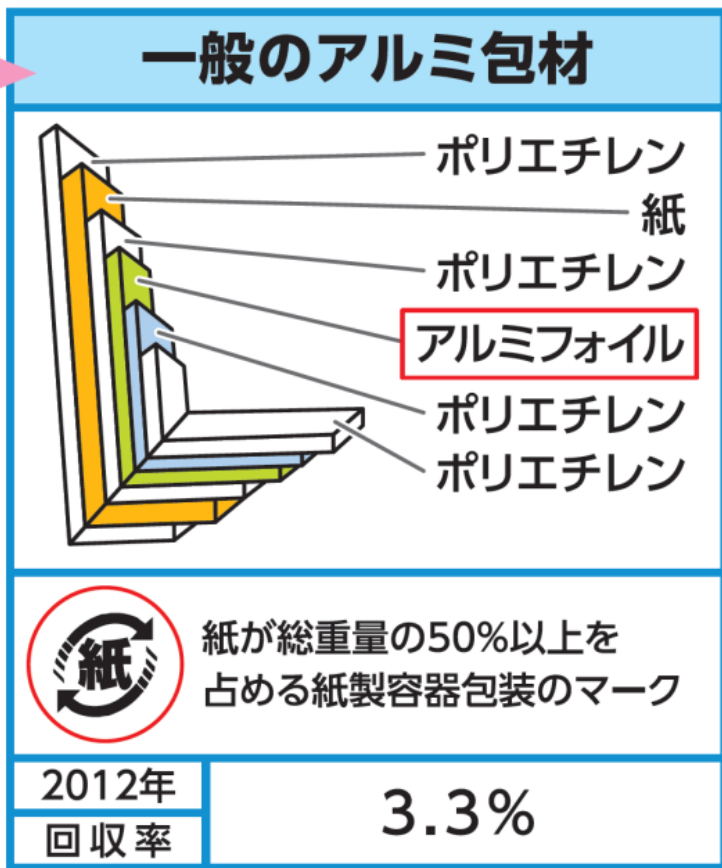
容器内面開封写真



IV. 新容器 完成(2)

アルミがなければ、牛乳パックと同じリサイクルが可能に!!

・アルミと紙の分離には特殊な処理が必要
 ・処理施設の数や地域も限定的



アルミを使わなくても、
 常温・長期保存を実現!!

Co2 排出量 約27%削減

V. 新容器の果たす役割(1)

3R



リデュース

賞味期間
9ヶ月



賞味期間
5日~21日

リユース

工作品、雑貨品



工作品、雑貨品

リサイクル

回収率: 33.8%
<'12年実績>



回収率: 33.8%
<'12年実績>

V. 新容器の果たす役割(2)

持続可能な消費を実現した、
環境配慮型紙パック容器

リサイクル

- ・牛乳パックなどと同じようにリサイクル可能
- ・リサイクル率向上に寄与

3つの特長

常温流通

運搬、保管時の冷蔵にかかるエネルギーを削減

長期保存

アルミ入り容器と同様の賞味期限、保存期間が実現

環境・消費者課題への対応

持続可能な社会形成への貢献

VI. 効果・成果(1)

目指したのはパートナーとの協働による「持続可能な社会・環境」の実現



レンガ型紙パック飲料容器

VI. 効果・成果(2)

伊藤園とパートナー企業(日本製紙・凸版印刷)をめぐる
共有価値の創造

社会・環境の価値

- リサイクル社会(資源循環型社会)の実現
- 環境配慮型製品の普及

消費者の価値

- 身近なところでリサイクル率向上に貢献
- 環境・品質によい製品の導入

パートナー企業の価値

- 競争力のある新たな製品を開発
- 企業価値の向上
- 持続可能社会・環境への貢献

VII. 今後への期待

ロングライフ(アルミ入り)



ショートライフ



紙パックのリサイクル率向上の推進

Co2排出低減（資材面、輸送面）